

教科・科目	保 健	単位数 : 1 単位 履修年次 : 1 年次
目標	個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。	
教材	現代高等保健体育 (大修館 7 0 1)	
学習方法	① 授業を大切にすること。教科書を中心とした学習であるが、ただ単に暗記するのではなく、自分の生活や健康、心や体の働きなどのことと関連していることを十分理解すること。 ② 2年間で授業を行うが、大切なのは卒業後からの各ライフステージの中で健康を確立することである。生きる知恵として十分理解して、生涯にわたって健康な生活を送るための知識を身につけること。 ③ 教科書、ノート、プリント類を参考にして、ポイントや用語などをしっかり覚えること。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	健康に関する基礎的な知識、関連用語を理解するとともに、健康を保持増進していくための適切な考え方を身につけている。	健康の保持増進や安全のための適切な意思決定、行動選択とは何かを思考し、判断することができる。また、それらについて自らの言葉で表現することができる。	健康や心と体との関わりについて関心を持ち、意欲的に探求するとともに、自ら学ぶ姿勢・態度を身につけている。
評価方法	定期考査・小テスト・ノート提出・授業記録 など	定期考査・小テスト・ノート提出・授業記録 など	定期考査・小テスト・ノート提出・授業記録 など

麻高G P	 1 自律性	 2 協働性	 3 主体性	 4 課題解決能力	 5 情報活用能力
	 6 実践・発信力	 7 メタ認知能力	 8 探究心	 9 チャレンジ精神	 10 レジリエンス力

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4 月～ 9 月	シラバス・授業ガイダンス 1 単元 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防	定期考査 小テスト ノート提出 授業記録 など

		5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	
後期	10月～ 3月	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	定期考査 小テスト ノート提出 授業記録 など

● [評価基準]

	(考査以外) の評価割合	学期末・年度末の 観点別学習状況の評価	学期末・年度末の評定
知識・技能	40	A ~ C	5 ~ 1
思考力・判断力・表現力	40	A ~ C	
主体的に学習に取り組む態度	20	A ~ C	

評価の内容	評価
「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
「努力を要する」状況と判断されたもの	C

評定の内容	評定
「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	5
「十分満足できる」状況と判断されたもの	4
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	3
「努力を要する」状況と判断されたもの	2
「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	1